

清掃業務の基本点

清掃に必要な道具や洗剤の点検、補充。

現場では、作業開始前に作業する場所全体を見回し、汚れ具合などを確認する。それぞれの部屋を点検し状況を把握する。

基本的に清掃は上から下にむかってすすめる。(2階建住宅の場合は2階から、部屋の中は天井からといった具合に。)

又、基本的に清掃は奥から入り口に向かってすすめる。

作業中、雑巾は、出来るだけ頻繁に取り替える。(雑巾は汚れたらすぐ洗う。)

バケツの水はこまめに取り替える。

雑巾がけは、常に板の目、畳の目にそって行なう。

換気扇、照明器具等の清掃では、取り外せる物は取り外して、作業をすすめる。

サッシ窓は外して清掃する。網戸も外して水洗いする。(サッシ窓に付随するレール溝等を清掃するため。)

クロス壁の汚れは必要に応じて洗剤等を使用してふきあげる。汚れが目立たない場合でも、必ず水拭き又は乾拭きを施す。

水回り(トイレ、風呂、台所等)清掃をする場合は、汚れ具合に応じて所定の洗剤を、事前に振りかけておく。

清掃者は、作業全体の流れを常に把握しておかなければならない。(作業者相互の思惑の違いでミスを起こさないため。)

最終工程であるワックス掛けの前には、作業者全員で、各々が施工した作業箇所をチェックする。